

第12号議案 令和3年度長崎市一般会計補正予算（第24号）

〔文化観光部所管分〕

【目次】	(予算説明書頁)	(資料頁)
[2款 総務費]		
2・1・22 世界遺産推進費		
<<繰越明許費補正>>		
【補助】世界遺産保存整備事業費補助金		
「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」	50 ~ 51	1 ~ 6
[10款 教育費]		
10・6・3 文化財保護費		
<<繰越明許費補正>>		
【単独】文化財保存整備事業費		
ブロック塀ほか	66 ~ 67	7 ~ 8
[11款 災害復旧費]		
11・3・1 市有施設等災害復旧費		
1 【単独】市有施設災害復旧費		
1 現年度災害分	40 ~ 41	9 ~ 10
<<繰越明許費補正>>		
【単独】市有施設災害復旧費		
現年度災害分	66 ~ 67	9 ~ 10



4 繰越明許費

総事業費 ①	繰越明許額 ②	財源内訳				事業者 負担額 ①-②
		国庫支出金 ※1	県支出金 ※2	地方債 ※3	一般財源	
千円 21,452	千円 17,699	千円 11,503	千円 2,478	千円 3,700	千円 18	千円 3,753

補助基本額 17,699千円	65%	14%	21%	総事業費の 17.5%
-------------------	-----	-----	-----	----------------

※1 国宝重要文化財等保存・活用事業補助金 補助率 65%

※2 指定文化財保存整備事業費補助金 補助率 14%

※3 過疎対策事業債 充当率 100% (交付税措置率 70%)

5 スケジュール (予定)

[.....➡ 当初計画、——➡ 修正後計画]

年度	令和3年度												令和4年度				
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
大平作 業場跡 活用施 設整備➡ 工事設計												——➡ 工事設計				
大平 開墾地 整備➡ 石垣整備												——➡ 石垣整備				
➡ 工事監理												——➡ 工事監理				
石積み 建物 整備	——➡ 設計調整		➡ 発注準備 入札		● 不調1➡ 保存整備工事					——➡ 保存整備工事					
➡ 工事監理												——➡ 工事監理				

6 位置図





大平作業場跡活用施設完成予想図(東側立面図)



大平作業場跡活用施設完成予想図(見学ブリッジから大平開墾地を望む)

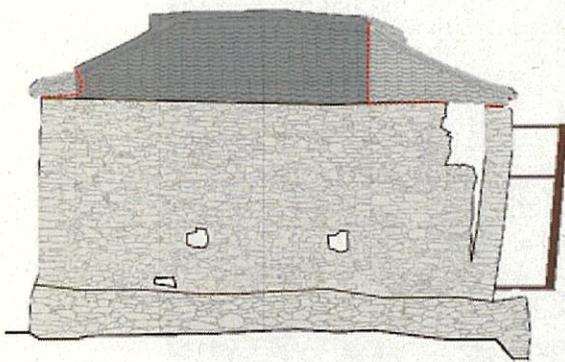


大平開墾地活用イメージ(お茶摘み体験)

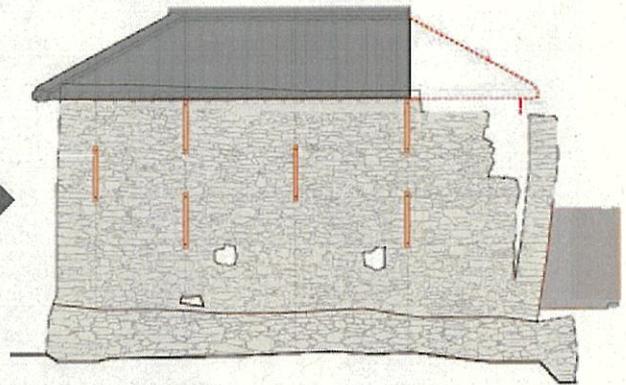
8 石積み(ネリベイ)建物整備



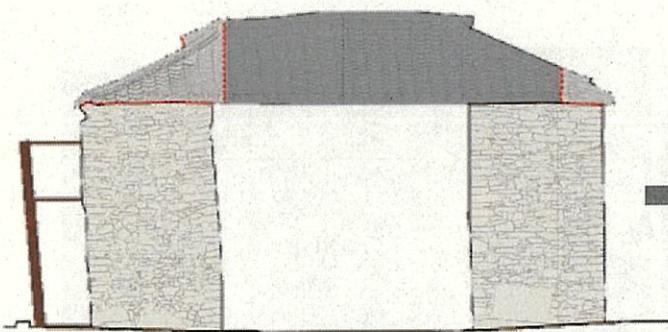
現況写真(西南側)



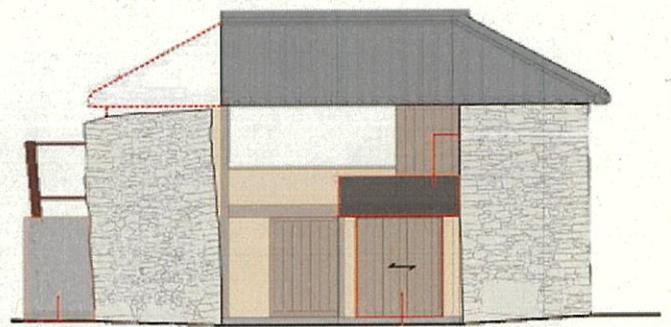
現況図(南側立面図)



整備イメージ(南側立面図)



現況図(北側立面図)



整備イメージ(北側立面図)

予算説明書【繰越明許費】				事業名	繰越明許費
頁	款	項	目		
66 ? 67	10 教育費	6 社会教育費	3 文化財保護費	【単独】文化財保存整備事業費 ブロック塀ほか	千円 15,400

1 事業の概要

市指定史跡中の茶屋周囲の既存石積み塀や建築基準法に適合しない既存ブロック塀について、安全対策として塀の改修工事を行う。

2 繰越明許費

(単位：千円)

金額	財源内訳			
	国庫支出金	県支出金	地方債※	一般財源
予算現額	15,400	—	13,800	1,600
支出予定額	0	0	0	0
繰越明許額	15,400	—	13,800	1,600

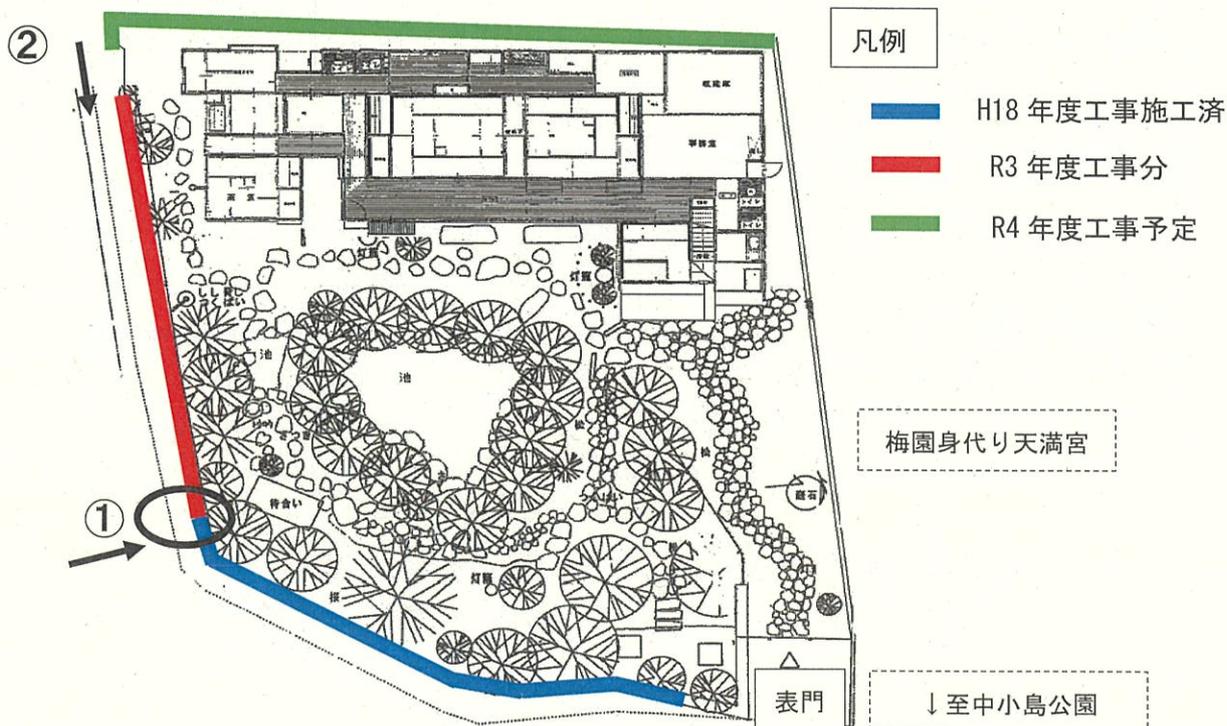
※地域活性化事業債 90% (交付税措置率 30%)

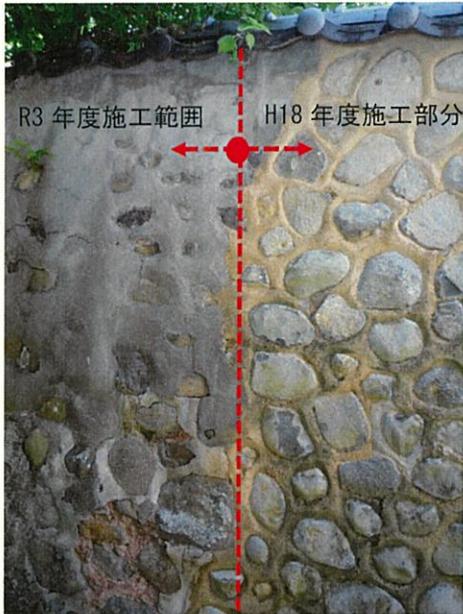
3 事業内容

(1) 令和3年度 既存石積み塀撤去後、石積み塀設置 延長：約22m高さ：約2.3～2.9m
(鉄筋コンクリート造塀を設置後、道路側に石積み、敷地内は漆喰塗り仕上げ)

ア 工事請負費 15,400千円

(2) 令和4年度 既存ブロック塀撤去後、目隠しフェンス設置など(予定) 延長：約30m





① H18 年度整備箇所との境目



② 石積み塀（道路側から）

4 繰越理由

敷地周囲の既存石積み塀について、安全対策として改修を予定していたが、3回の入札不調を受けて、年度内の事業完了が見込めないため。

5 スケジュール

(1) 当初

区 分	令和3年度				令和4年度			
	月 4	7	10	1	4	7	10	1
既存石積み塀改修（R3年度）				→				
既存ブロック塀改修（R4年度予定）							→	

(2) 変更後（予定） ※青矢印は変更部分を示す

区 分	令和3年度				令和4年度			
	月 4	7	10	1	4	7	10	1
既存石積み塀改修 （R3年度施工部分とR4年度施工予定 部分を併せて工事発注を予定。）								
							▽	
					←		→	

凡例

- 令和3年度繰越明許費見合分。（工期：約3ヶ月程度を予定）
- 令和4年度事業予定分。（工期：約3ヶ月程度を予定）

予 算 説 明 書				事 業 名	補 正 額
頁	款	項	目		
40 ～ 41	11 災害復旧費	3 市有施設等 災害復旧費	1 市有施設等 災害復旧費	【単独】市有施設災害復旧費 現年度災害分	千円 4,700

1 概要

令和3年7月から9月にかけて発生した落雷により、稲佐山山頂電波塔ライトアップ設備（投光器等）の一部が破損していることが判明したため、同設備の復旧を行うもの。

2 事業内容

- (1) 稲佐山山頂電波塔ライトアップ設備修繕（4,700千円）
- (2) 施工期間 約6ヵ月
- (3) 現状（照明器具）

（単位：台）

摘 要	NHK塔	FM塔	民放塔	合計
故 障	3	2	2	7
故障無し	17	18	18	53
合 計	20	20	20	60

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他※2	一般財源
千円 4,700	千円 —	千円 —	千円 400	千円 4,237	千円 63

※1：災害復旧事業債 充当率100%（交付税措置率：47.5%）

※2：全国市有物件災害共済

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

稲佐山山頂電波塔のライトアップは、長崎の夜景のランドマークとしての役割を担っており、夜景観光の推進のためには、必要な設備であるため。

(2) 効果

稲佐山山頂電波塔ライトアップ設備を復旧し、長崎の夜景のランドマークとしての本来の魅力を取り戻すことにより、長崎市を訪れる観光客の滞在時間・満足度の向上が図られる。

5 スケジュール（令和4年度） ※予定

時 期	摘 要
3月中旬～4月上旬	公告準備⇒公告
4月中旬～5月中旬	開札⇒契約⇒事前準備
5月中旬～6月中旬	電波塔所有者との調整及び現況調査 等
7月～	故障照明機器撤去運搬⇒修理⇒再設置施工 等
～12月	竣工

6 繰越明許費

事 業 費		財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他※2	一般財源
予 算 現 額	千円 17,000	千円 —	千円 —	千円 900	千円 16,099	千円 1
補 正 額	千円 4,700	千円 —	千円 —	千円 400	千円 4,237	千円 63
繰越明許額	千円 4,700	千円 —	千円 —	千円 400	千円 4,237	千円 63

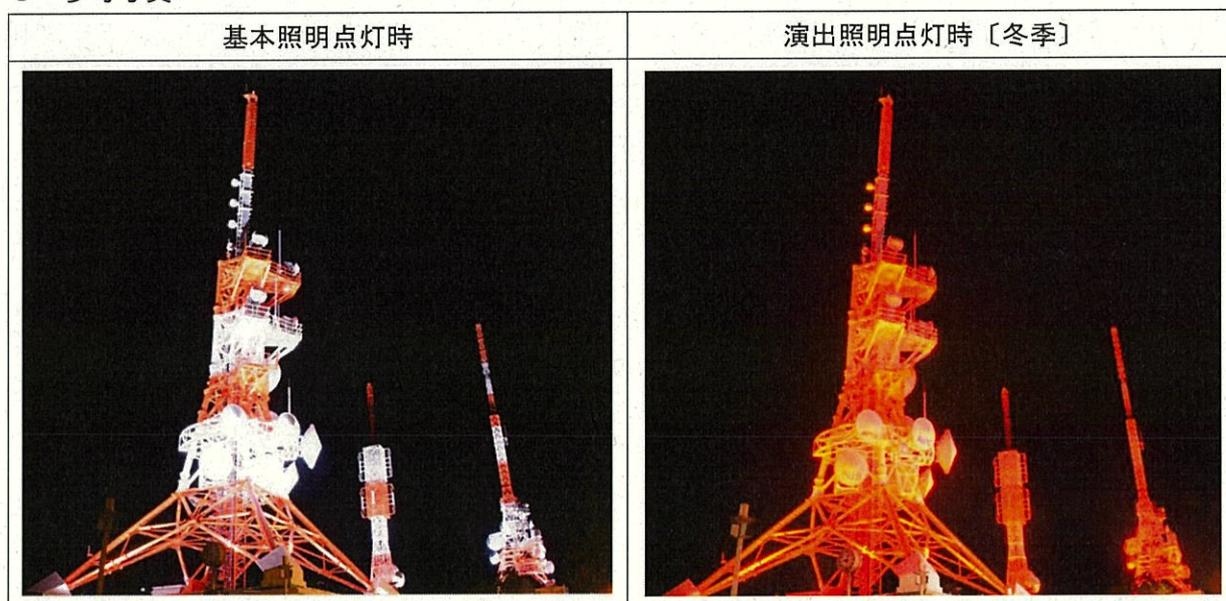
※1：災害復旧事業債 充当率100%（交付税措置率：47.5%）

※2：全国市有物件災害共済

7 繰越の理由

施工には6か月程度の工期を要し、年度内に作業が完了しないため。

8 参考写真



※演出照明については、他にも「ランタンフェスティバル（黄・オレンジ・ピンク）」や「帆船まつり（水色と白のグラデーション）」等、約60パターンがプログラムされている。